

## 資格認定委員会より

### 1 認定心理士について

2022年度第4回委員会(通算第193回)が2022年12月17日に開催されました。12月8日までに受け付けのうち640件を審査し、609件を合格、23件を保留、8件を不合格としました。また、以前の委員会で保留または不合格と判断されたうち追加資料の送付された26件を再審査し、22件を合格、3件を保留、1件を不合格としました。この結果、2022年度の初回審査数は2,502件、総審査数は2,606件、認定可件数は2,464件、資格取得者数は1,936名となりました。資格取得者は累計70,372名です。次回認定委員会の開催予定日は2023年4月8日です(2023/1/31現在。例年は2月にも開催しておりますが、認定システム刷新作業のためやむなく休会といたします)。

### 2 認定心理士(心理調査)

(通称:心理調査士)について

前掲第193回委員会で、12月14日までに受け付けのうち5件を審査し、4件を合格、1件を保留としました。また、前回までに保留または不合格と判断された者のうち追加資料の送付された3件を再審査し、2件を合格、1件を保留としました。この結果、認定心理士(心理調査)の資格取得者の累計は445名となりました。

### 3 シチズン・サイコロジスト奨励賞に是非ご応募ください

2019年から、人々の心の健康と福祉の増進に寄与する活動をしてられる認定心理士の方々を顕彰する制度「シチズン・サイコロジスト奨励賞」を実施しています。これまでに4件(3名と1団体)に授与しており、この原稿を執筆している2月中旬の時点で2023年にご応募いただいた分を審査しており、受賞者が出た

場合は9月の第87回大会で表彰式が行われます。ご存じのとおり、認定心理士は学部で心理学を専攻された方ならばほとんどでも取得できる「手軽な」資格ですが、単に心理学を学んだことの証明という域を超えてそれを社会における実践に活かしてくださっている方を発見したい、というのがこの制度の意図です。これまでの受賞をみても、発達障がい者やその支援者の交流コミュニティ活動、認定心理士の相互交流の場の提供、自立・就労支援事業所への音楽療法の提供、矯正心理分野における実践活動とその内容は多岐にわたっており、着実な裾野の拡がりを感じているところです。

本奨励賞には、認定心理士の資格をお持ちであれば(大学や研究所等にご所属でなければ)どなたでもご応募いただけます。実は、これまでは応募資格として日本心理学会の会員であることを求めていたのですが、今回の応募からこれを撤廃しました。認定心理士資格をお持ちであればどなたでも学会の会員にはなっていないのですが、それをシチズン・サイコロジストとしての優れた活動を顕彰するための要件とするのはいかがなものか、という意見があってこの度の変更となった次第です。

募集は、毎年11月から翌年1月上旬にかけて行われます。今からならじっくりご準備いただけますので「自分の活動が賞に値するなんてとてもとても……」と尻込みすることなく、是非ご応募ください。また、他薦もOKなので、身近にそういう知り合いがいらっしゃれば是非ご推薦ください。よろしく願いいたします。

(資格担当常務理事・大阪大学教授 三浦麻子)

#### 編集後記

特別企画、お楽しみいただけましたでしょうか? お気づきの通り、本号から紙面デザインも一新しています。新たな装いの下で、編集委員一同、変えるべきことは軽妙洒脱に変えてゆき、同時に変えるべきでないことはしっかりと守りつつ編集作業を楽しんで進めてまいります。読者のみなさまも、新たな『心理学ワールド』を編集委員に負けないくらいお楽しみください(でも簡単には負けませんよ)。引き続き、本誌へのご意見・ご要望もお待ちしております。(片山順一)

#### 編集委員

編集委員長	片山順一(関西学院大学)	松田社一郎(筑波大学)
副委員長	荒川 歩(武蔵野美術大学)	明和政子(京都大学)
委員	牛谷智一(千葉大学)	村山 綾(近畿大学)
	小野田慶一(追手門学院大学)	山崎真理子(鹿児島大学)
	坂田陽子(愛知淑徳大学)	山本哲也(徳島大学)
	東海林 渉(東北学院大学)	担当常務理事
	橋本博文(大阪市立大学)	原田悦子(筑波大学)
	松田いづみ(青山学院大学)	

